

## 金沢城公園 中期経営目標取組状況(令和5年度)

中期経営目標(実施期間 R5～R9)

- ①利用者数については、現状の水準を維持します。
- ②利用者アンケートによる満足度は、95%以上を維持します。
- ③利用者1人あたりの一般財源投入額は、現状の水準を維持します。

### 1 中期経営目標の進捗状況

測定指標	基準値	実績値(R5)	中間目標値(R7)	最終目標値(R9)
①利用者数	2,233千人	2,222千人	2,233千人	2,233千人
②利用者アンケートによる満足度	96%	99%	95%以上	95%以上
③利用者1人あたりの一般財源投入額	94円	106円	94円	94円

### 2 令和5年度における主な取組内容

#### (1)施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取組

##### ①施設の利用促進に向けた取り組み

- ・例年、当事務所の自主事業として行っている「城と庭のもてなし事業」について、以下のイベントを実施しました。
  - 5～3月：四季の花巡りツアー(計5回)、5月・11月：工作体験教室(計4回)、7～10月：金沢城体験ツアー(計5回)、
  - 8月：ひやくまんさん茶会(計4回)、10～11月：ひやくまんさん花壇によるおもてなし、12～2月：金沢城公園スタンプラリー、
  - 2月：鷹匠による放鷹術の実演(計2回)
- ・兼六園と金沢城公園をより深く理解し後世に継承していただくことを目的に「城と庭の探究講座「金沢城大学」」を10月から2月にかけて計9回開催しました。

##### ②サービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・国民文化祭関連行事である「チームラボ 金沢城光の祭」に協力し、夜間の金沢城公園の魅力創出に努めました。
- ・二の丸御殿などのVR(仮想現実)映像を鶴の丸休憩館で一般公開し、金沢城の更なる魅力発信に努めました。
- ・車いすの貸し出しなど、高齢者や身体が不自由な方への配慮に努めるとともに、新たに金沢城公園バリアフリーMAPを作成し、利用者へのサービス向上に努めました。

#### (2)施設運営の効率化に向けた取組

- ・エネルギー節減の意識を高め、光熱水費等管理コストの縮減に努めました。

#### (3)その他の取組 (1)、(2)以外の取組があれば記載

### 3 令和6年度における取組内容の見直し等

- ・能登半島地震により被災した箇所については、十分な安全対策を講じるとともに、ホームページやサイン等による注意喚起を行い、引き続き安心して公園を利用していただけるよう努めます。
- ・例年実施している「城と庭のもてなし事業」や「金沢城大学」などは、参加者の満足度を落とさない工夫をして実施します。